

全協 28 第 15 号
平成 28 年 5 月 26 日

各 位

(公社) 全国土木コンクリートブロック協会
会長 本間 大士



「魅力ある水辺空間の再生に関するシンポジウム」の開催について

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当協会の業務については種々ご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、標記について国立研究開発法人土木研究所水環境研究グループ自然共生センター及び貴機関は、河川景観の保全の観点から護岸ブロックの評価手法の確立及びその評価手法に照らして、製品の試作、試験施工を行い、改良を図りながら景観に配慮した製品の普及を目的として共同研究を行ってまいりました。

これまでの研究成果を発信するとともに、これからの魅力ある水辺空間の形成を進める上で必要な空間デザイン手法や護岸ブロックに求められる機能・活用のあり方について議論し、我々が進むべき今後の方向等について共有することを目的として、シンポジウムを開催すること致しました。

つきましては、ご多忙中とは存じますが会員職員のご参加について、特段のご高配を賜りたくご依頼方々ご案内申し上げます。

記

1. 期 日 平成 28 年 6 月 22 日 (水) 13 : 00 ~ 17 : 00
2. 会 場 星陵会館ホール
東京都千代田区永田町 2-16-2
3. 受講料 無料
4. 定 員 300 名 (但し事前申込の先着順とする)
5. 申込方法 参加者名・会社名・住所・電話番号を記入の上
下記アドレスまで送付願います。

Email : info@cba.or.jp

なお、メールでのご対応が難しい方は FAX にて別紙申込書に記入の上お申込下さいますようお願い致します。

以上



魅力ある水辺空間の再生を目指して！

～水辺空間デザインの今まで、そして、これから～

**参加
無料**

2016年 **6月22日(水) 13:00～17:00** (受付12時～)

会場：星陵会館ホール(東京都千代田区永田町2-16-2)

対象：国・自治体の河川管理者、川に関心のある市民の方々、建設コンサルタント・ブロックメーカーの技術者
(会場の都合上、数に限りがございますので、誠に勝手ながら先着順とさせていただきます)

各地で魅力あふれる水辺空間の形成が進み、人・まちと川とのつながりが深まりつつあります。良好な水辺空間の形成には、水面から河畔まで連続的に捉えるデザイン力に加えて、河岸や水際のデザインに影響する護岸ブロック等のコンクリート製品の質も重要になります。本シンポジウムでは、平成26年に改定された「美しい山河を守る災害復旧基本方針」において景観への配慮がより一層充実したことも踏まえ、これからの魅力ある水辺空間の形成を進める上で必要な空間デザイン手法、護岸ブロックに求められる機能や活用のあり方について議論したいと思います。

主催 国立研究開発法人土木研究所
水環境研究グループ自然共生研究センター

共催 公益社団法人全国土木コンクリートブロック協会

後援 国土交通省(予定)

お問い合わせ

(公社)全国土木コンクリートブロック協会
TEL: 03-5689-0491
E-mail: info@cba.or.jp


会場地図



12:00	受付・会場		
13:00	開会	国立研究開発法人土木研究所理事	野口 宏一
13:05	来賓挨拶	国土交通省水管理・国土保全局河川環境課長	小俣 篤
13:10	趣旨説明	国立研究開発法人土木研究所	萱場 祐一
第一部 基調講演 13:20 ~ 14:10			
13:20	「戦後の河川環境整備概史」	(株)プランニングネットワーク	岡田 一天
第二部 研究・事例発表 14:10 ~ 15:10			
14:10	「水辺空間デザインの考え方」	国立研究開発法人土木研究所	鶴田 舞
14:25	「河川用護岸ブロックの改良と工夫」	(公社)全国土木コンクリートブロック協会	尾崎 正樹
14:40	「糸貫川における川づくり」	岐阜県	藤井 孝和
14:55	「一乗谷川における川づくり」	福井県	脇本 幹雄
15:10	休憩		
第三部 パネルディスカッション 15:20 ~ 16:55			
15:20	話題提供		
「川で活用するハイブリッド型グリーン・インフラへの期待と可能性」			
		国土交通省	堂園 俊多
「いい川のデザイン・事例」			
		(株)吉村伸一流域計画室	吉村 伸一
「白川・緑の区間のデザイン」			
		熊本大学	星野 裕司
パネリスト 岡田 一天、吉村 伸一、星野 裕司、堂園 俊多			
コーディネーター 萱場 祐一			
16:55	閉会挨拶	公益社団法人全国土木コンクリートブロック協会会長	本間 丈士

プログラム

基調講演



岡田 一天
(おかだ かずたか)


(株)プランニングネットワーク 顧問

■経歴
昭和55年東京工業大学大学院理工学研究科修了、同年(株)アイ・エヌ・エー新土木研究所入社、平成元年(株)プランニングネットワーク設立、代表取締役を経て平成26年より顧問。

■主なプロジェクト、著書等
多摩川兵庫島地区景観設計
横手川蛇の崎地区景観設計
中筋川ダム景観設計
(土木学会デザイン賞優秀賞)
津和野川河川景観整備(同優秀賞)
吉田ダム空間のトータルデザイン(同最優秀賞)他
水辺の空間設計(土木学会編、共著)
都市の水辺をデザインする(篠原修編、共著)

■ひとこと
川が好きです。もっと、もっと川を活かしたまちづくり、社会づくりが出来ないものかと、日夜奮闘しています。

話題提供



吉村 伸一
(よしむら しんいち)


(株)吉村伸一流域計画室 代表取締役

■経歴
昭和46年室蘭工業大学土木工学科卒業、同年横浜市役所入庁、平成10年(株)吉村伸一流域計画室設立、代表取締役。

■主なプロジェクト、著書等
和泉川東山の水辺・関ヶ原の水辺(土木学会デザイン賞最優秀賞)
嘉瀬川・石井樋地区歴史的水辺整備事業(同優秀賞)
いたち川の自然復元と景観デザイン(同優秀賞)
伊勢・宮川堤の景観デザイン
多自然型川づくりを越えて(学芸出版社、共著)
まちづくりへのプレイクスルー(彰国社、共著)
日本文化の空間学(東信堂、共著)

■ひとこと
川の働きを活かした川づくり、豊かな河川空間の再生ということを考えて仕事をしています。

話題提供



星野 裕司
(ほしの ゆうじ)


熊本大学大学院 先端科学研究部 准教授 博士(工学)

■経歴
平成8年東京大学大学院工学系研究科修了、同年(株)アブル総合計画事務所入社、平成11年熊本大学工学部助手、平成18年より熊本大学大学院自然科学研究科准教授。

■主なプロジェクト、著書等
曾木の滝分水路(土木学会デザイン賞優秀賞、グッドデザイン・サステナブルデザイン賞)
白川・緑の区間(グッドデザイン賞)
熊本駅周辺都市空間デザイン(都市景観大賞)
風景のとらえ方・つくり方(共立出版、共著)
ようこそドボク学科へ!(学芸出版、共著)
川の百科事典(丸善、共著)

■ひとこと
景観デザインとは、人と環境の間に、多様な接点(インターフェース)をつくることだと思っています。

話題提供



堂園 俊多
(どうその しゅんた)

国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 河川環境保全調整官

■経歴
平成4年九州大学大学院土木工学科修了、同年建設省入省、平成16年JICA専門家(フィリピン)、平成20年岐阜県河川課長、平成24年国土交通省八代河川国道事務所長を経て、平成27年8月より水管理・国土保全局河川環境課河川環境保全調整官。

■これまで携わった水辺
関東(江戸川、中川、綾瀬川)
中部(木曾川、揖斐川、長良川他)
中国(太田川、小瀬川)、九州(球磨川、川辺川)
フィリピンの各河川

■ひとこと
26年前の平成2年に始まった「多自然型」川づくり以降、私自身数々の現場で、様々な工夫が凝らされたコンクリートブロックを活用させていただきました。そして今、コンクリートと植物を組み合わせたハイブリッド型のグリーンインフラが、再び国内外で注目されています。その最新事情をご紹介します。

参加申込書 **FAX 03-5689-0492**

必要事項をご記入の上、本紙をそのまま送信ください。((公社)全国土木コンクリートブロック協会)

参加者氏名	所属	連絡先 (TEL)	E-mail